

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻		
科目名称 [英語名称]	資源植物生産学特論Ⅱ [Special Argument of Plant Resource]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	631101	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	廣瀬 大介			学位授与の方針 との関連	DP1		
授業概要	本講義は、資源植物を理解する上で必要となる代謝について講義を行いません。また、近年、植物の根は、単に地上部を支持するだけでなく、個体全体の生育に重要な役割を担っていることが明らかにされつつあります。このため、各資源植物の生理生態的特性を理解する上で根の構造や機能を知ることは重要と考えられますので、根の形態や生理特性、さらには根の研究方法などについても講義します【知識・理解の育成】。						
関連する科目	資源植物学特論Ⅰを受講していることが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回、アクティブラーニング型授業を実施します。各回のテーマに沿って教員が講義を行い、それに対して各自の考え方を述べてもらいます。						
授業計画	第1回目～第3回目 資源植物の代謝Ⅰ(光合成) 第4回目～第6日目 資源植物の代謝Ⅱ(呼吸) 第7回目～第9回目 資源植物の代謝Ⅲ(窒素同化) 第10回目 資源植物の代謝Ⅳ(2次代謝) 資源植物の代謝について学びます。 第11回目～第12回目 資源植物の根系構造 第13回目～第14回目 資源植物の根系機能 第15回目 資源植物の根系形態の解析方法 資源植物の根系構造と機能、さらには形態の解析方法について学びます。						
授業の到達目標	より深く資源植物の形態や代謝生理を理解することを目標としています。						
授業時間外の学修	予習:授業ごとの基本的内容を事前に勉強してください。復習:授業内容の十分な理解に努めて下さい。 予習:1時間, 復習:1時間(最大)						
課題に対する フィードバック	提出されたレポートについて講評します。	評価方法	受講態度(50点)、課題提出(50点)				
テキスト	必要に応じてプリントを配布します。						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 植物の代謝コミュニケーションー植物分子生理学の新展開 代謝と生合成30講 植物生産生理学 						
備考							